Python について知ろう①(変数について)
 [2 学期授業用プリント No.1]

 3年( )組( )番 名前( )

#### 練習1 文字を表示させよう。

print("こんにちは")

☆「print」で表示させます。文字の表示には""が必要です

#### 説明の変数について。

- ●変数とは、データ(文字や数値など)を入れておくような箱のようなものです。 その箱から数値などを取り出して使います。
- ●数学の代入に似ています。

### 練習2-1 変数を表示させよう。(数字)

a=5 print(a)

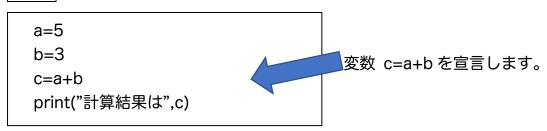
### 練習2-2 変数を表示させよう。(文字)

a="hello" print(a) 文字の表示には""が必要です

## 練習3 実際に変数の計算をし、表示されるか確認してみよう。



## 練習4 変数+文字を表示してみよう。「計算結果は8」という結果を表示します。



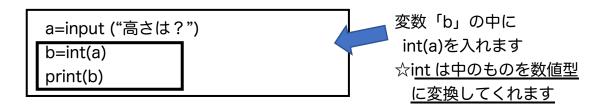
## 練習5 数字を入力できるようにしてみよう。

input("高さは?")

## 練習5-1 入力した数字が表示されるようにしてみよう。

a=input("高さは") print(a) 変数「a」の中に input を入れます

# 練習5-2 今のままでも表示されますが、a に入った数字がコンピューターは 文字か数字か判断できません。そこで a に入ったものが数字だと 判断させるようにします。int を使います。

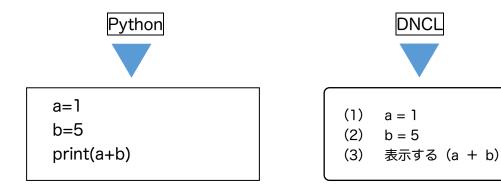


発展課題 input()とint()を使い、数字を入力させ、足し算をするプログラムを作ってみよう。

### ●算術演算について(時間があれば試してみよう)

●弁門疾弁について(時間がめずのないのう)				a=10	
python		DNCL		a=10 b=3	
+	足し算を行う。	+		D=3	
_	引き算を行う。			print(a+b) #13 print(a-b) #7 print(a*b) #30 print(a**b) #10 print(a/b) #3.3	
*	掛け算を行う。	*			
**	べき乗を行う	**			
/	割り算を行う。	/			
//	商を求める(整数値)	÷			
%	割り算を行い、余りを得る。	%		print(a//b)	
				print(a%b)	#1

# 重要 Python と DNCL の比較



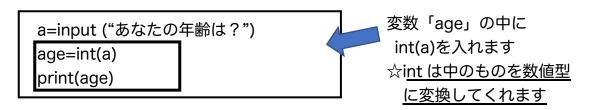
 Python について知ろう①(if 文について)
 [2 学期授業用プリント No.2]

 3年( )組( )番 名前( )

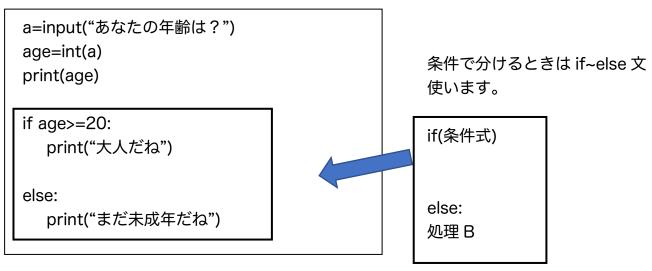
#### ●if でよく出てくる比較演算子

python		DNCL	
==	等しい	==	
!=	等しくない	!=	
>	大なり	>	
>=	以上	>=	
<	小なり	<	
<=	以下	<=	

練習 1 今のままでも表示されますが、a に入った数字がコンピューターは 文字か数字か判断できません。そこで a に入ったものが数字だと 判断させるようにします。int を使います



練習 2 条件によって表示が変わるようにしよう。今回は年齢が20歳以上なら「大人だね」、そうでなければ「まだ未成年だね」というプログラムを作ります。

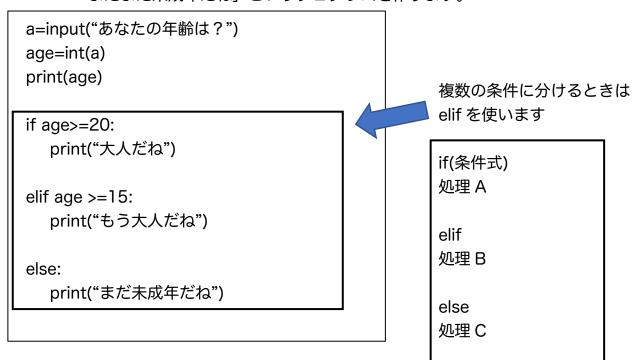


☆if、else の後に print 文を入れる場合は字下げ(tab キー)が必要です。 字下げで if 文の中にあるという意味になります。

字下げなし if age>20 字下げあり if age>=20 print("大人だね")

練習3 年齢によって処理を3つに分けてみよう。

20歳以上は「大人だね」15歳以上は「もうすぐ大人だね」、それ以外は「まだまだ未成年だね」というプログラムを作ります。



#### 基礎課題1

点数が70点以上かどうか確認するプログラムを作ろう。 70点以上なら「合格」、60点以上なら「ぎりぎり合格」、 それ以外なら「不合格」となるようにしてください。

> ヒント①input の文字を変えてみよう ヒント②age>=20 の数値を変えてみよう ヒント③print の中身を変えてみよう。

# 重要 Python と DNCL の比較

